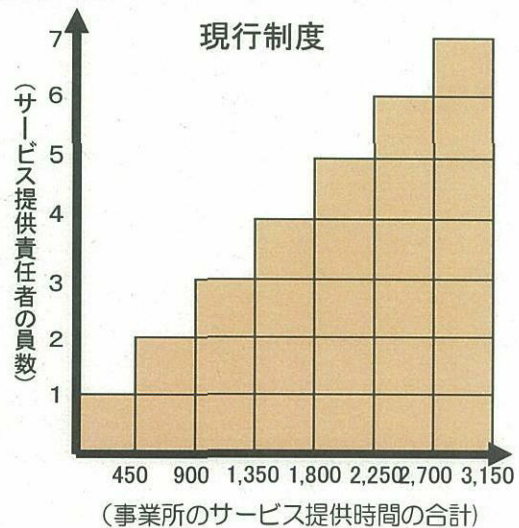


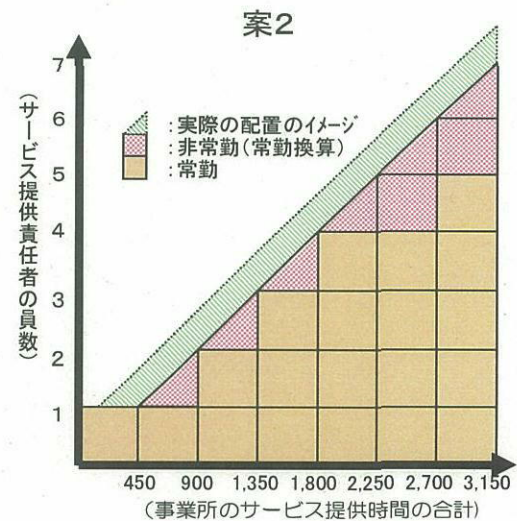
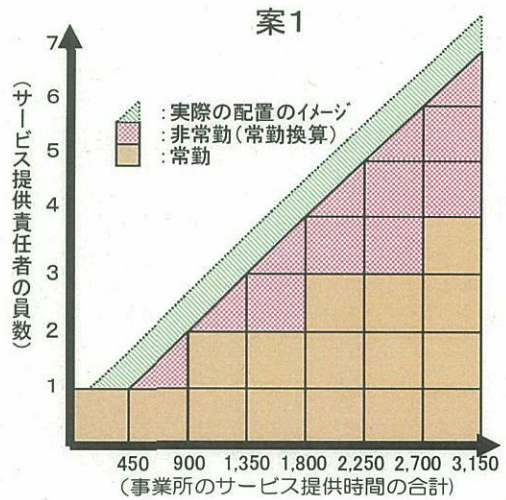
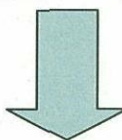
○ サービス提供責任者の人員配置基準の見直し(案)

【案1、案2の共通の考え方】

- ・ 現行のサービス提供時間(450時間)又は訪問介護員等の員数(10人)に応じた最低基準の考え方は維持
- ・ 常勤職員を基本としつつ、非常勤職員の登用を一定程度可能とする方向で見直す。
- ・ 併せて職業能力開発機会の充実や業務の具体化・標準化を推進する。
- ・ 施行後の状況を検証し、必要な対応を行う。



注) 訪問介護員等の員数に基づく基準についても同様の考え方で見直すこととする。



案1の考え方

○ 最低基準上、サービス提供責任者を複数配置する事業所において、常勤換算数が常勤数を超えないものとする

案2の考え方

○ 最低基準上、サービス提供責任者を複数配置する事業所において、原則として1人分のみの常勤換算を可能とする

○ 併せて、5人を超えるサービス提供責任者の配置が必要な事業所についても、その3分の2以上を常勤者とするものとする。